

自殺対策シンポジウムin茨城

～ 自死遺族の声を聞いて一緒に考える「気づきと見守り」～

茨城県では、毎年700人(1日2人)もの尊い命が自殺で失われています。

自殺者の多くは、健康問題や経済問題、勤務問題などで精神的に追い込まれ、あるいは、国民の15人に1人がかかるといわれるうつ病を発症していたという報告もあり、自殺予防に向け、そういった要因・サインについて、一人でも多くの方に理解を深めていただくことが課題となっています。一方、身近な人を自殺で失われた方の心理的影響は計り知れないものがあり、その悲しみを分かち合うなど、心のケアも課題となっています。

このシンポジウムでは、当事者(遺族)の声を聞きながら、自殺について知るとともに、自殺予防のために私たちに何ができるのかを一緒に考えていきます。

日時 平成20年2月23日(土)

先着300名・入場無料

13時30分～16時30分(開場13時)

場所 県南生涯学習センター(土浦駅前ウララビル5階)

駐車場料金は参加者負担となりますので予めご了承ください

開会(挨拶・趣旨説明)

13:30～14:00

挨拶 茨城県副知事

川俣 勝慶

趣旨説明 自殺対策支援センターライフリンク事務局長

藤澤 克己氏

行政説明 「茨城県の自殺対策の現状」

茨城県保健福祉部障害福祉課

自死遺族からのメッセージ

14:00～14:40

自死遺族とは、自殺により大切なご家族を失われた方のことです。

南部 節子氏

シンポジウム

14:50～16:20

テーマ ～自死遺族の声を聞いて一緒に考える「気づきと見守り」～

[コーディネーター]

茨城県精神保健福祉センター長

荒木 均

[シンポジスト]

弁護士

阿久津 正晴氏

茨城いのちの電話事務局長

秋元 元子氏

生と死を考える会茨城支部事務局

太田 幸栄氏

福島自死遺族ケアを考える会 れんげの会代表

金子 久美子氏

多重債務相談
こころの相談
(無料・秘密厳守)
も同時開催!!

【主催】茨城県 茨城県自殺対策連絡協議会

【後援】内閣府 自死遺族支援全国キャラバン実行委員会 茨城司法書士会

【協賛】日本財団

<問い合わせ先等裏面をご覧ください>

<申し込み方法>

入場，相談とも先着順といたしますので，氏名（匿名可），参加人数，連絡先をご記入のうえ，ファックス，eメールでお申し込みください。（当日参加も可）

<申し込み先・問い合わせ先>

○茨城県保健福祉部障害福祉課 精神保健グループ

FAX： 029(301)3371

eメール： shofuku@pref.ibaraki.lg.jp

TEL： 029(301)3368

<<会場略図>>



J R常磐線土浦駅（西口）より・・・徒歩2分
常磐自動車道土浦北I Cより・・・車で15分
常磐自動車道桜土浦I Cより・・・車で15分